

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 依知南小学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】	校長名 外村 美佳
---------------	--	-----------

学校教育目標	学校経営の方針
◎自ら学びよく考える子 ◎心豊かでやさしい子 ◎健康でたくましい子の育成 ～えがおで ちゃれんじ 未来を創る みなみっ子～	○教育基本法等関係諸法令並びに学習指導要領・神奈川県教育ビジョン・厚木市教育委員会の基本目標に基づいた学校運営を展開する ○児童・保護者・地域の実態を踏まえ、学校運営協議会、地域学校協働活動推進本部、学校の協力体制による運営に努める ○「地域に開かれた学校づくり」、「地域と共にある学校づくり」をめざした運営に努める ○児童が安心・安全に生活・学習できるように危機管理体制を確立した運営に努める

今年度の重点目標

『えがおで ちゃれんじ 未来を創る みなみっ子』の育成

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
基礎・基本の学力の定着	1	学力・学習状況調査の分析・検討 短時間学習・スキルタイムの有効活用	学力・学習状況調査の結果分析を行い、分析結果を全教員で共有することができた。さらに授業改善に取り組み、児童自身や保護者にも実感できるよう「基礎・基本の定着」を図りたい。	指導と評価に関する研修を実施し、教職員の指導計画の立て方や、評価の仕方、授業づくり等の基礎力を高める。
児童が分かる喜びを得られる授業づくり	1	Chromebookの活用推進 学習意欲を持たせるような課題提示の工夫。体験を重視した学習。	教員がICT機器の活用に慣れてきた。全学級で積極的に授業で活用している。より効果のある活用の仕方や、授業づくりの方法を知る必要がある。研究を続けていく。	Chromebookを使った授業はもちろん、お互いに授業を参観できる機会を作り、指導方法や指導内容について研究を深められるようにする。地域の教材や人材を活用した授業づくりを目指す。
家庭学習の習慣化	1	家庭学習チャレンジ月間を設定し、家庭への啓発をする。	「自主学習モデル」を各学年ごとに作成し、掲示した。自分で学習の仕方やまとめ方を工夫して自学に取り組む児童が増えた。まだあまり前向きに取り組めない児童もいるため、継続的な働きかけが必要である。	家庭学習のしかたをよりわかりやすく伝える。自ら学びたいようになるような仕掛けを授業で行う。根気強く継続的に家庭学習の習慣化を啓発していく。
あいさつ(学校で・地域で)	2・3	気持ちの良いあいさつができることをめざし、「あいさつ運動」「あいさつマラソン」を行った。	元気なあいさつができる児童が増えた。日中も「こんにちは」とあいさつする児童や、お客様に対して積極的に声をかける児童が増えた。一方で、まだあいさつができない児童もいるので、意義を伝えながら、継続して指導していきたい。	日頃から教職員も進んであいさつする姿を見せる。児童会の活動を活発にし、児童同士の意識を高めていけるようにしたい。地域の方にも挨拶ができるよう広げていく。
目標をもって学校生活を送る	1・2・3	キャリアパスポートを通して、自身の成長をふり返る	学校生活全般において、素直に頑張る児童が多い。より積極的に人と関わり、自分も相手も成長していけるような切磋琢磨できる関係づくりができるようになるとうい。	児童が自ら考え行動できる力を伸ばしていけるような機会を設ける。キャリア教育に重点をおき、学校行事や各学年の学習内容を精選する。
楽しく運動する中で体力向上を目指す	1・2・3	体育科の校内研究 休み時間を外で過ごす児童を増やす(休み時間応援隊)	校内研究の体育科で、限られた時間の中でより多くの運動量を確保し、楽しく技能を付けていける授業づくりに取り組むことができた。また、保護者や地域の方の協力を得て、休み時間の安全の見守りと、体力づくりを始めたので発展させていきたい。	体力向上には継続的に取り組む。優れた講師を招き、授業づくりとともに体力づくりについても教員の指導力を高めていきたい。「休み時間応援隊」の活動についても継続していく。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

学習面の充実、体力向上への取組を継続してほしい。児童指導面、いじめの認知件数報告で件数に驚いた。認知件数が多いことが問題なのではないが、継続指導している件数の内容が気になる。ケースに合わせて対応していると思うが、長期間にわたって継続してしまわないよう適切に対応してほしい。安全面の防災対策で防災頭巾とヘルメットのどちらを準備しておくのが良いか検討していくとよい。

今年度の学校経営のまとめ・次年度への改善の方針

ここ数年、コロナ禍にあって学校の教育活動全般が停滞気味であった。地域とのつながりも希薄になってしまったが、次年度は新しい形の地域協働を図っていきたい。キャリア教育に重点を置き、地域の教材や人材を活用した学習や活動を広げたり深めたりしていきたい。様々な学習活動へのボランティア募集についても公民館のご協力をお願いしたい。